

研究だより No.2

令和4年7月12日（火）

Up! Up!!

豊島区立池袋第三小学校

研究主題

「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」

今年度最初の研究授業が、6月23日に3年3組で行われました。国語科の授業で、「山小屋で三日間過ごすときに持って行きたい物」を対話しながら決めていきました。授業の様子をお伝えします。

第3学年 国語科 「山小屋で三日間過ごすなら」

マトリクス（表）



各々が思い描く山小屋での生活で使いたい物を、理由も考えて伝え合いました。そこで、昨年度の取組の1つである「思考ツール」の表を活用して班の意見を整理していきました。

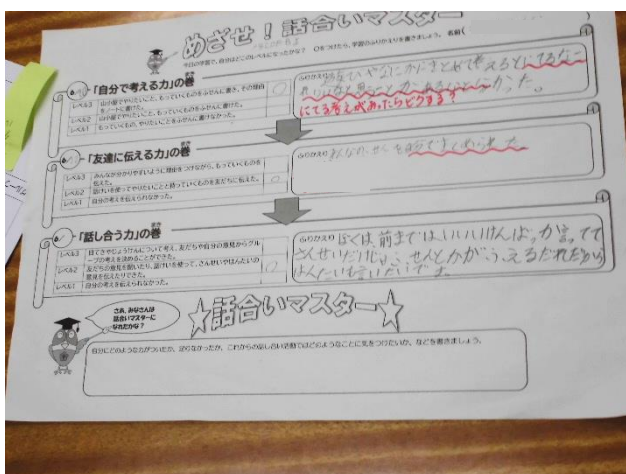
付箋を操作しながら対話することで、共通点が見付けやすくなったり、分類しやすくなったりするよさがあります。

また、対話の手立てとして、「話型」を提示したことで、賛成や反対の立場を明確にした話し合いの力が高まりました。

今後の課題として、

- ・話型を定着させてくこと
- ・聞き方の力も底上げしていくことが挙げられました。

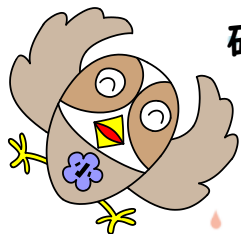
学習カード



授業ごとの振り返りに、学習カード「めざせ！話し合いマスター」を活用しました。学習カードは学習単元の始めに配られているため、各授業で自分がめざす姿を知ってから学習することができます。それぞれの学習の到達点に分かることで、各自がどこまでを目指すか目標設定をすることに役立ちます。

話合うための3つの柱として「自分で考える力」「友達に伝える力」「話し合う力」をそれぞれの学習で自己評価しています。「話し合いの力」を高める今回の授業では、話し合いの目的や条件を確認しながら合意形成を図ろうとする児童の姿が見られました。

今回の成果と課題を生かして、今後もよりよい授業づくりを研究していきます。



研究だより No.3

令和4年7月20日(水)

Up! Up!!

豊島区立池袋第三小学校

研究主題

「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」

今年度2回目の研究授業が、7月7日に5年2組で行われました。社会科の授業で、「わたしたちの食生活を支える食料生産」の中の水産業について、「水産業に関わる人々はどのような工夫をして私たちのもとにたくさんの水産物を届けているのだろう」という学習問題をもとに、表を使いながら、友達との対話を通し、どのような工夫があるか予想を立てるという授業を行いました。授業の様子をお伝えします。

第5学年 社会科 「わたしたちの食生活を支える食料生産」

クラゲチャート(表)



学習問題を解決するためには、どんなことを調べれば解決するのかを、「クラゲチャート」という表を使い予想を立てました。まず、クラゲの頭の部分に「学習問題」を書きます。次に足の部分に、学習問題を解決するために「何を調べる必要があるか」を考えて書きます。この足の部分に書いたことが、次回からの調べる学習に繋がります。個人→グループ→全体と話し合いを進めて足の部分を決め、学習計画を立てました。

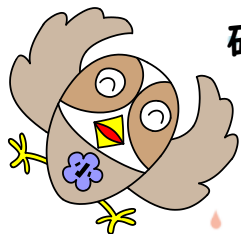
学習計画を自分たちで立てたことで、主体的な学習に繋がることができたという成果がある一方、課題としては、グループでの対話がより深まるためには、どのような手立てが必要か今後さらに考えていくということが挙がりました。

学び方カード



授業ごとの振り返りに、学び方カードを活用しました。この学び方カードとは学習過程の各段階の最後に振り返りをするものです。タブレットに記入していくことで、前回の小単元からの自分の高まりを見て感じることで、次の小単元での学び方に生かしたりすることが出来ます。また、「みんなの振り返り」シートを見ることが出来るため、友達のよい学び方や考えをその場で共有することが出来ます。

今回の成果と課題を生かして、今後ともよりよい授業づくりを研究していきます。



Up! Up!!

豊島区立池袋第三小学校

研究主題

「友達とよりよく問題解決しようとする児童の育成」

今年度3回目の研究授業が、9月22日に2年3組で行われました。体育科の授業で、「体づくりの運動遊び」の中の「体の移動、用具の操作について」の授業です。子ども達が忍者になり、修業をしながら動きを身につけていくという「なりきり遊び」を設定しました。その中で、動物歩きをしたり、フープや縄などの用具を使ったりした動きを、個人やペア、グループの活動を通して、楽しく学んでいった授業の様子をお伝えします。

第2学年 体育科

「池三にんじゃ・わざをきわめよう」

①紙芝居



②アイテムカード



③ビンゴカード



①授業の始めに手作りの「紙芝居」を使用しました。紙芝居は、「なりきり遊び」の世界に浸れるように、子ども達が忍者の修行をしていく内容で進みます。これから、どんな学習を行っていくのかを話の内容から見通しをもつことができ、また伝え合いの大切さを意識することができました。

②方向や回数などが書かれた「アイテムカード」を、話し合い活動で活用しました。子ども達は、アイテムカードを組み合わせるによって動きの工夫を考え、グループでの伝え合い活動に生かすことができました。

③単元の中で身に付けたい力が書かれた「ビンゴカード」を毎時間の学習の振り返りで活用しました。活動後に丸を付けていくことで、「次の時間はここを頑張るビンゴにしたい。」という吆が聞こえるなど、学習の意欲付けにつながりました。

以上の3点が成果です。

子ども達が、とても意欲的に、楽しみながら活動する姿が見られました。

今後はさらに、子ども達の考えが広がり、伝え合いの場面が増えるような手立てを考え、よりよい問題解決ができる児童を育成していきます。